

気仙沼観光マーケティングレポート(令和7年12月)

◆トピックス

- ・宿泊者数は前年同月比 89.7%と減少した。「観光・ビジネス」は、前年同月比 89.7%だった。また、「復興関連」は1年間5か月続けて0人を記録した。居住地では、「宮城県内(34.6%)」割合が最も高く、次に「関東地方(23.8%)」と続いた。前月と比較すると、宮城県内の割合が増加した。予約経路では、前月と比較すると「OTA」の割合が減少した。
- ・主要物販施設のレジ通過者数は、前年同月比で95.8%だった。観光施設の利用人数は前年同月比89.5%と減少した。
- ・体験商品は、前年同月比で、人数の割合と金額の割合ともに減少した。

1. 宿泊

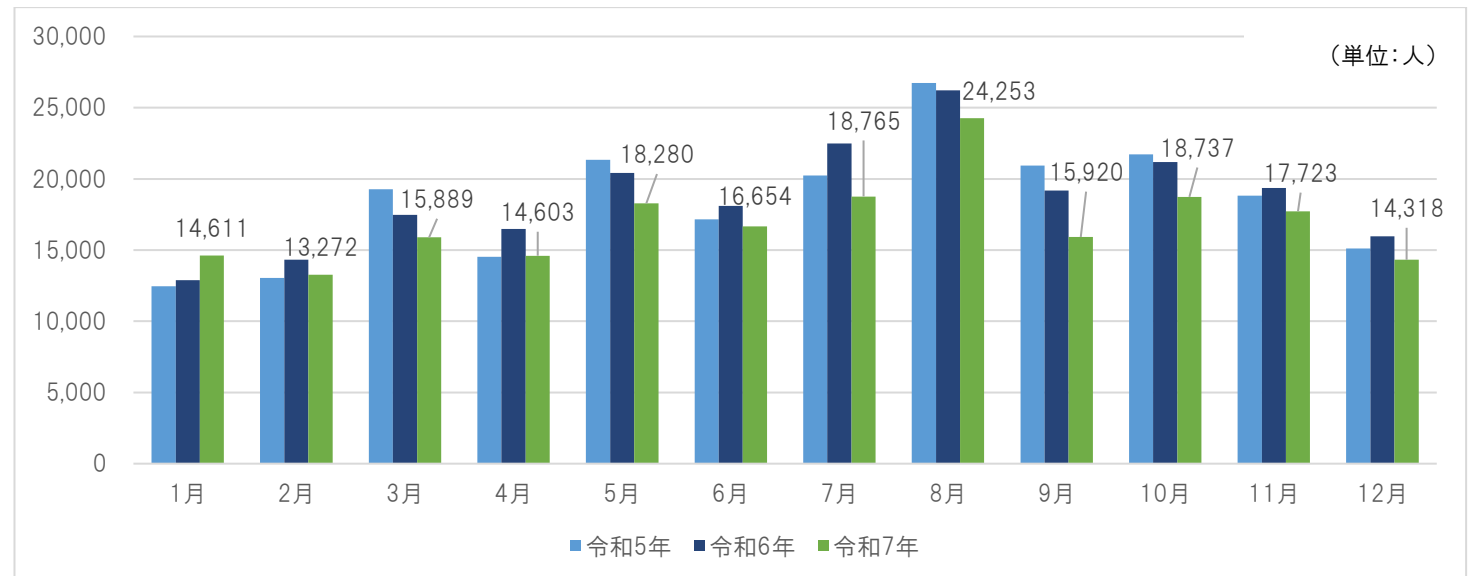
(1) 宿泊者数

① 前年同月比

(単位:人)

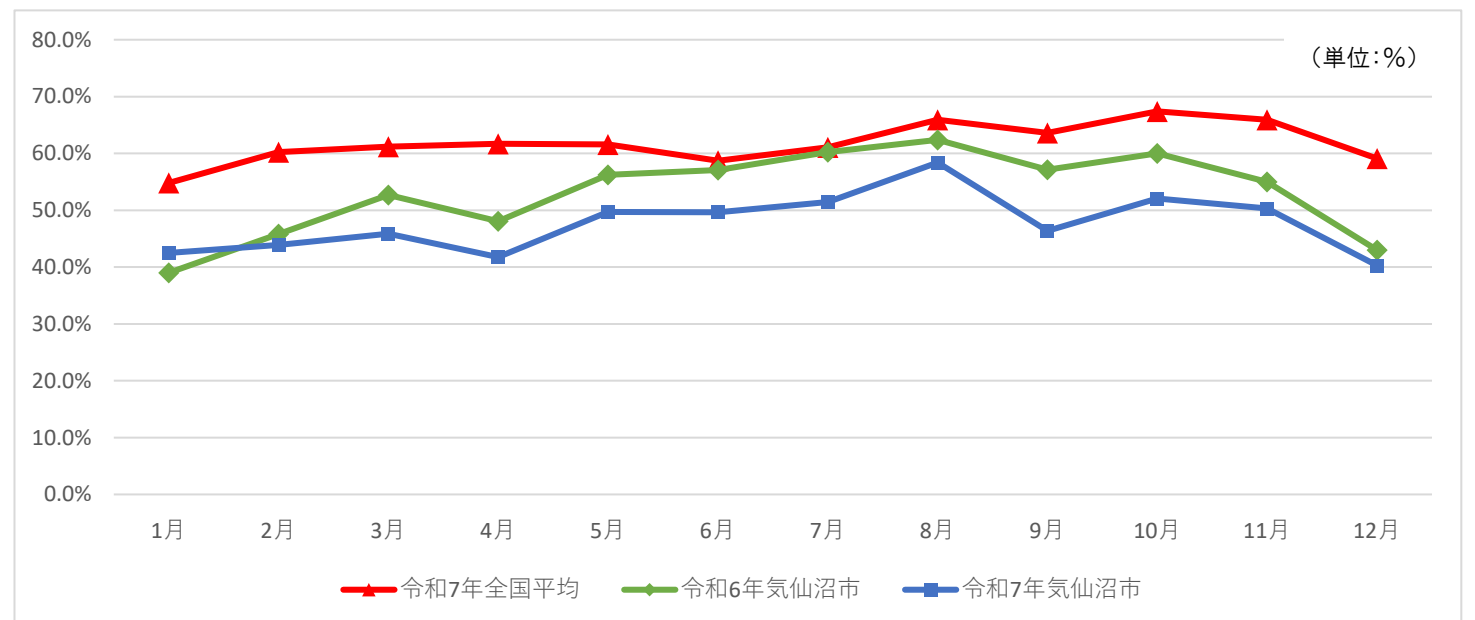
宿泊者数	令和5年	令和6年	令和7年	令和7年度割合	前年対比
	12月	12月	12月		
観光・ビジネス	15,117	15,963	14,318	100.0%	89.7%
復興関連	45	0	0	0.0%	0.0%
合計	15,162	15,963	14,318	100.0%	89.7%

② 年間推移(観光・ビジネス)

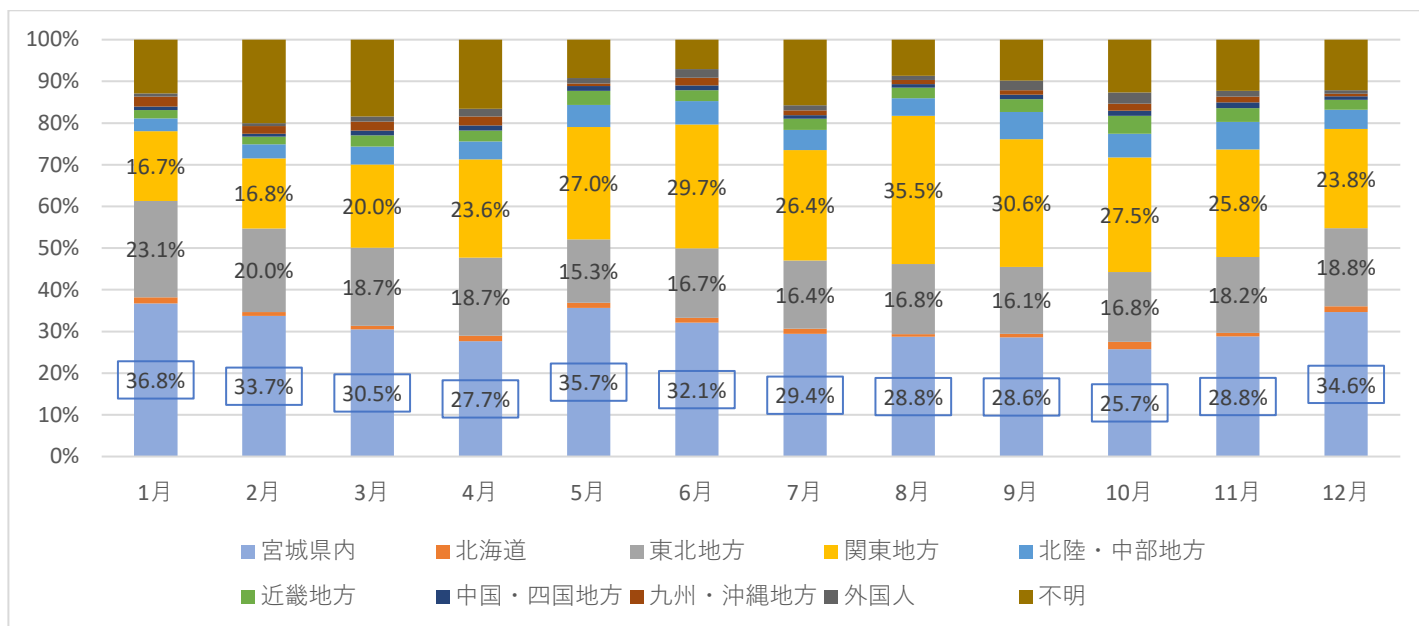


(2) 客室稼働率

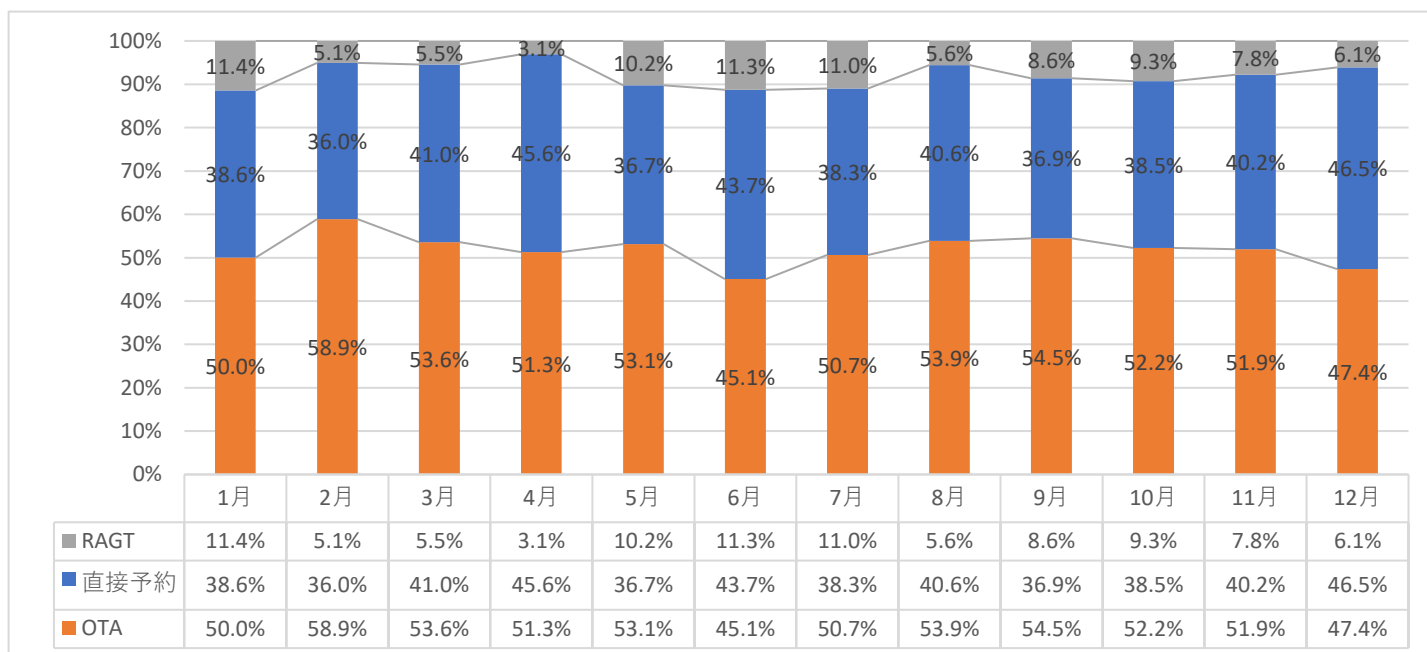
※令和7年度全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(令和7年・年間値(速報版))より《参考データ》



(3) 宿泊者居住地



(4) 予約経路



OTA：店舗を構えず、インターネット上で取引を行う旅行会社のこと。Online Travel Agent の略。

RAGT：実際に店舗を構えて取引を行う旅行会社のこと。Real Agent の略。

<12 月中の宿泊施設からのコメント>

- ・12 月 8 日深夜に発生した青森県沖合いの地震と津波注意報(12/16 までの後発地震注意報を含め)により 12 月～1 月にかけてのキャンセルが相次いだ。
- ・年末年始は例年通りの賑やかさとなり、宿泊人数は昨年並みで着地。
- ・年末も 12/29～31 の3日間でみると前年の9割ほどの利用となりました。
- ・地震の影響はマーケの力ではどうにもならず中旬は壊滅的でした。
- ・物価高騰や熊によるキャンセルなどで減少。

2. 物販施設(レジ通過者数)

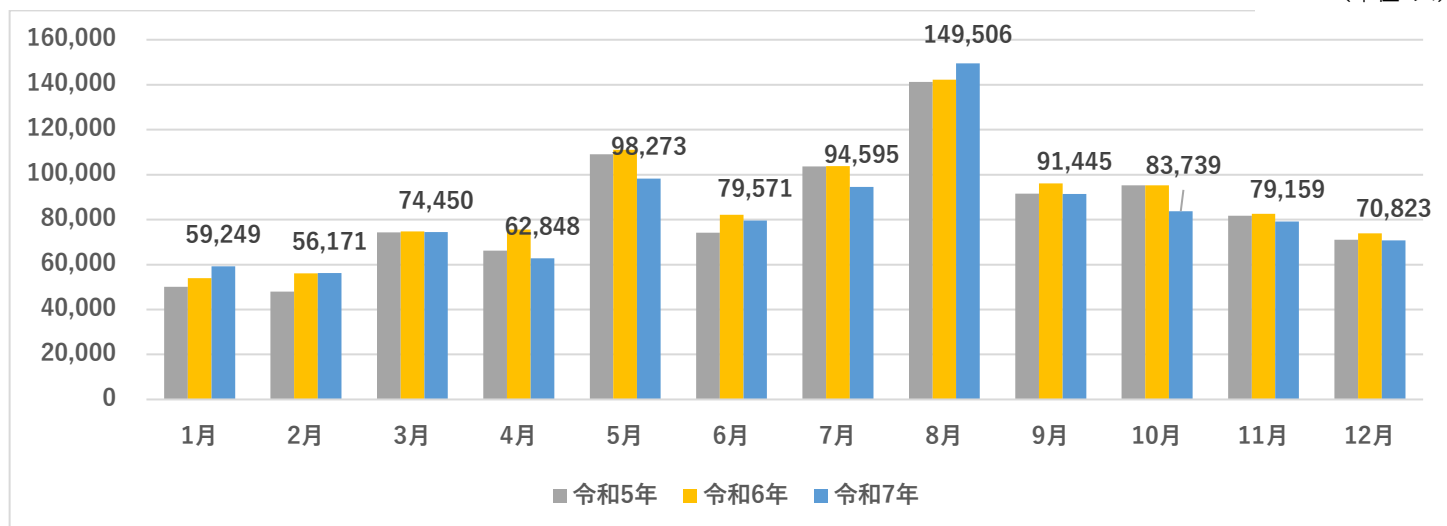
(1)前年同月比

(単位:人)

レジ通過者数	令和5年	令和6年	令和7年	前年対比
	12月	12月	12月	
施設 A	33,921	36,054	34,142	94.7%
施設 B	18,635	18,283	17,039	93.2%
施設 C	18,508	19,582	19,642	100.3%
合計	71,064	73,919	70,823	95.8%

(2)年間推移

(単位:人)



3. 観光施設(利用人数)

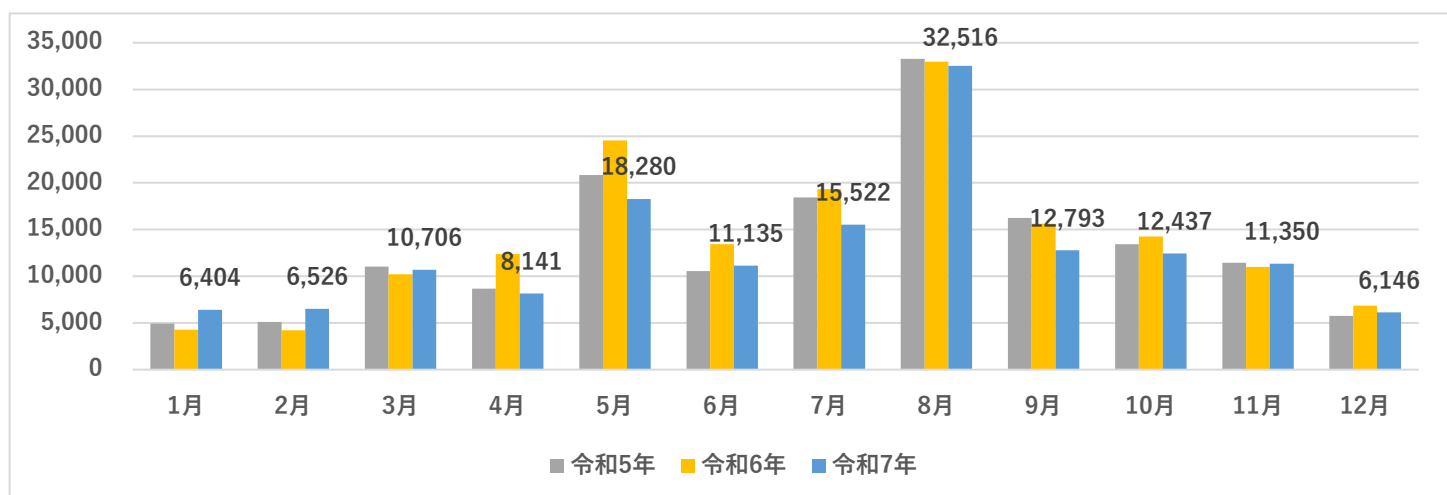
(1)前年同月比

(単位:人)

利用人数	令和5年	令和6年	令和7年	前年対比
	12月	12月	12月	
リアス・アーク美術館	159	159	126	79.2%
シャークミュージアム	1,919	2,263	2,096	92.6%
唐桑半島ビジターセンター	休業	628	373	59.4%
氷の水族館	1,809	2,132	1,932	90.6%
東日本大震災遺構・伝承館	1,852	1,684	1,619	96.1%
合計	5,739	6,866	6,146	89.5%

(2)年間推移

(単位:人)



4. 体験・ガイドプログラム

(1) 体験人数

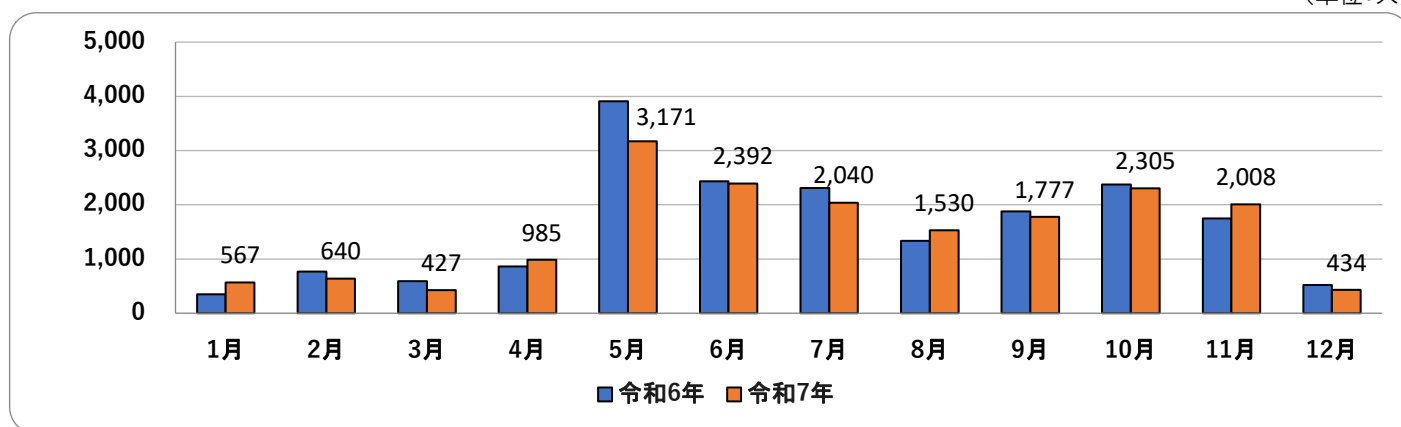
① 前年同月比

(単位:人)

体験プログラム人数 (単位:人)	令和6年	令和7年	前年対比
	12月	12月	
自然を味わう	22	0	0.0%
食を楽しむ	64	62	96.9%
震災・歴史・文化を学ぶ	414	338	81.6%
港町を感じる	23	34	147.8%
その他	0	0	0.0%
合計	523	434	83.0%

② 年間推移

(単位:人)



(2) 体験金額

① 前年同月比

(単位:円)

体験プログラム金額 (単位:円)	令和6年	令和7年	前年対比
	12月	12月	
自然を味わう	62,800	0	0.0%
食を楽しむ	89,400	127,800	143.0%
震災・歴史・文化を学ぶ	266,000	172,000	64.7%
港町を感じる	28,200	35,000	124.1%
その他	0	0	0.0%
合計	446,400	334,800	75.0%

② 年間推移

(単位:円)

